



(この用紙は資源保護のため再生紙を使用しています)

3月 巡回診療日程表

毎月1回は保険証の提出をお願いします

会場	診療日	時間(午後)	担当医
見立	12(水)	2:00~ 2:30	小嶋医師
虫崎		3:00~ 3:30	
北小浦	5(水)・19(水)	2:00~ 2:30	
黒姫		3:00~ 3:30	

会場	診療日	時間(午後)	担当医
鷺崎	14(金)・28(金)	2:00~ 3:00	石塚医師
藻浦	17(月)	2:00~ 2:30	大森医師
願		3:00~ 3:30	
北鶴島	10(月)・24(月)	2:15~ 2:45	
真更川		3:00~ 3:30	
江積	7(金)	2:30~ 3:00	高宮医師



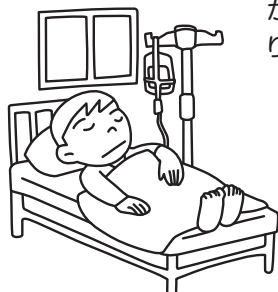
保健師メモ【冬は特にご注意ください】ノロウイルスの感染を広げないために

今年は、インフルエンザ以上にノロウイルスが猛威を振るっています。これまで、対策について紹介してきました。今回は、特に質問の多い内容について紹介します。

ノロウイルス Q&A

Q1 発症した場合の 治療法はありますか？

現在、このウイルスに効果のある抗ウイルス剤はありません。このため、通常、対症療法が行われます。特に、体力の弱い乳幼児、高齢者は、脱水症状を起こしたり、体力を消耗したりしないように、水分と栄養の補給を充分に行いましょう。脱水症状がひどい場合には病院で点滴を行うなどの治療が必要になります。



Q2 診断のためにどんな検査をするのですか？

通常の場合、臨床症状や周囲の感染状況等から、総合的にノロウイルスを原因と推定して診療がなされていることが多いと考えられますが、このウイルスによる病気かどうかは、臨床症状からだけでは特定できません。

「ノロウイルス抗原検査」は、便中のノロウイルスを検査キットで検出するもので、3歳未満、65歳以上の方等を対象に健康保険が適用されています。医療機関で診断の補助に用いられます。なお、この検査は、結果が早く出るメリットがありますが、ノロウイルスに感染していても陽性とならない場合もあり、ノロウイルスに感染していないことを確かめることはできません。

Q3 おう吐物や便が布団などのリネン類に付着した場合は どのように処理をすればよいですか。

リネン等は、付着した汚物中のウイルスが飛び散らないように処理した後、洗剤を入れた水の中で静かにもみ洗います。その際にしぶきを吸い込まないように注意してください。下洗したリネン類の消毒は85℃・1分間以上の熱水洗濯が適しています。あるいは、次亜塩素酸ナトリウム(ハイター等)の消毒が有効です。その際も十分すぎ、高温の乾燥機などを使用すると殺菌効果は高まります。

布団などすぐに洗濯できない場合は、よく乾燥させ、スチームアイロンや布団乾燥機を使うと効果的です。また、下洗い場所を次亜塩素酸ナトリウムで消毒後、洗剤を使って掃除をする必要があります。

